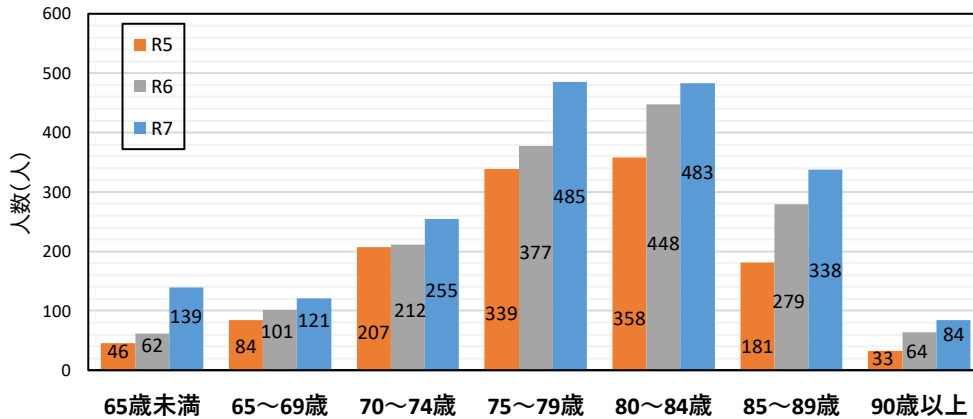


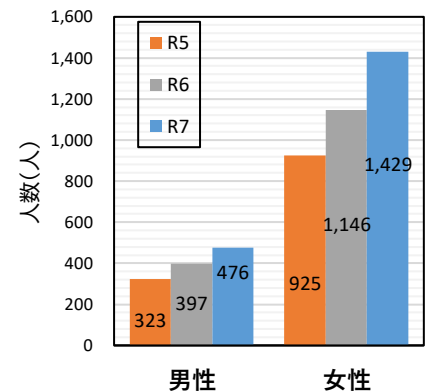
令和 7 年度 フレイルチェック結果

参 加 者	ボランティアハウス等通いの場の申込団体 フレイルチェック大会等イベント参加者
実 施 回 数	101 回
実 施 期 間	令和 7 年4月～令和 8 年3月
参 加 人 数	(延べ)2,328 人 ※うち市民かつ情報提供あり 2,060 人

年齢階級別の人数 ※実人数(n=1,905)



性別の人数 ※実人数(n=1,905)

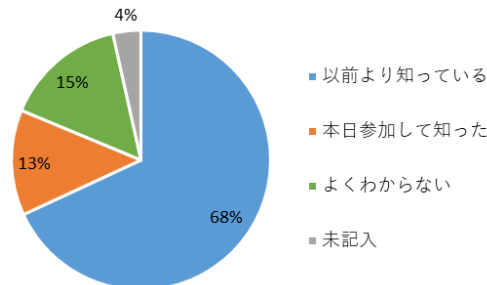


○参加者数は年々増加。75 歳～84 歳の方の参加率が高いが、70 歳未満の参加者数も増加傾向にある。
○性別ごとの参加者数は、男性より女性の方が多い傾向が続いており、差も広がっている。

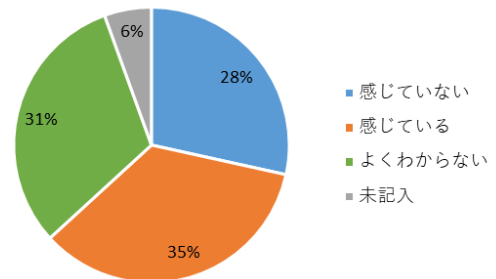
●フレイルアンケート(令和4年より調査)

全体

フレイルについて知っていますか

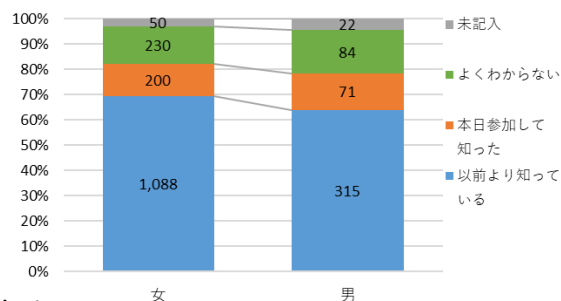


1-1. 自身でフレイルと感じていますか

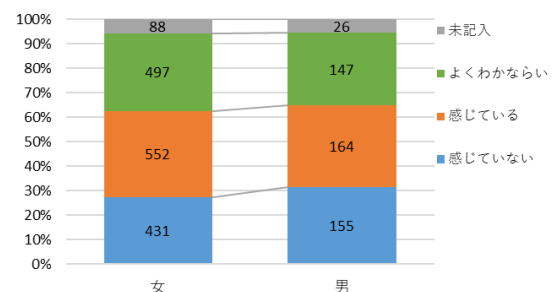


性別

フレイルについて知っていますか

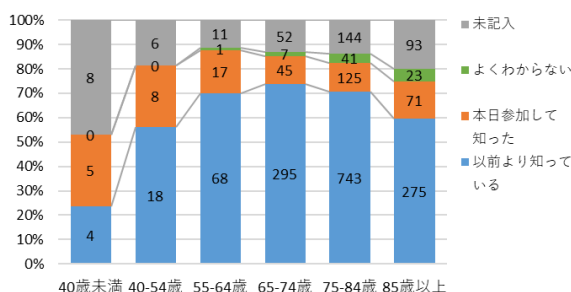


1-1. 自身でフレイルと感じていますか

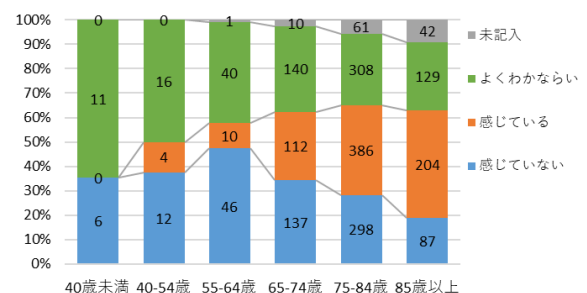


年齢別

フレイルについて知っていますか

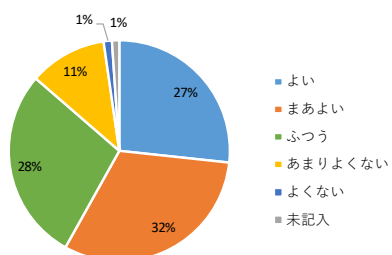


1-1. 自身でフレイルと感じていますか

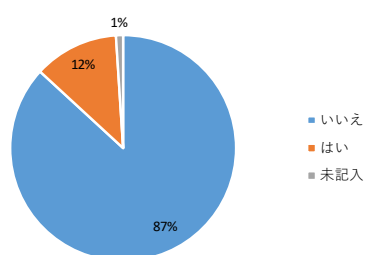


【記述測定】フレイルチェック結果 令和7年4月～令和8年3月分（n = 2,060）

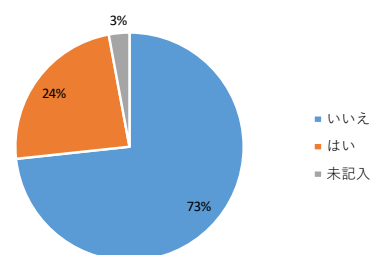
1. あなたの現在の健康状態



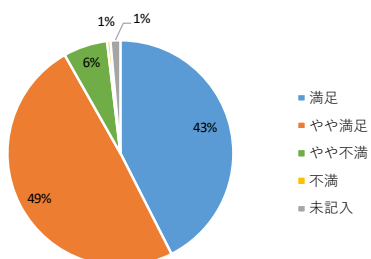
6. 半年で2～3 kg以上の体重減少



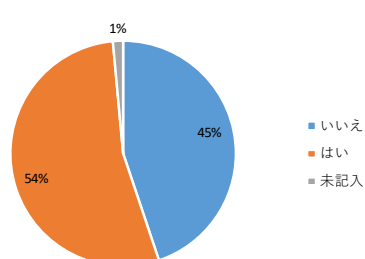
11. 何月何日かわからない時があるか



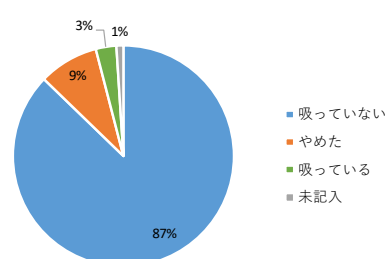
2. 毎日の生活に満足しているか



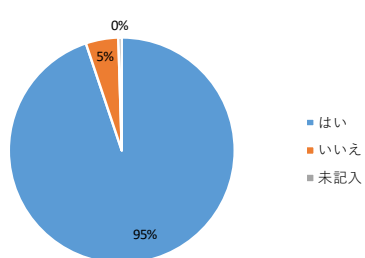
7. 以前より歩く速度が遅くなった



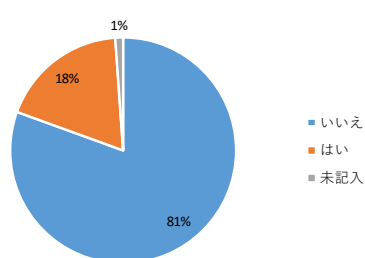
12. たばこを吸うか



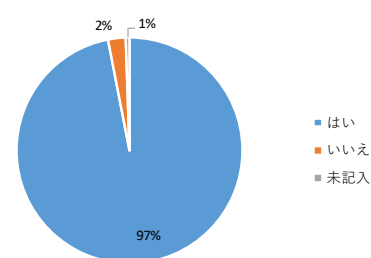
3. 1日3食きちんと食べているか



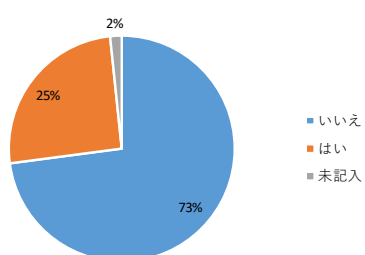
8. この1年間に転んだことがあるか



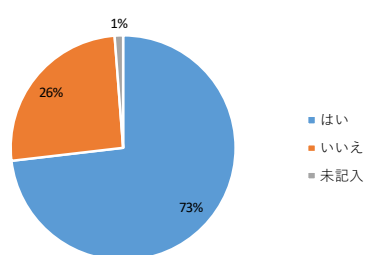
13. 週に1回以上は外出しているか



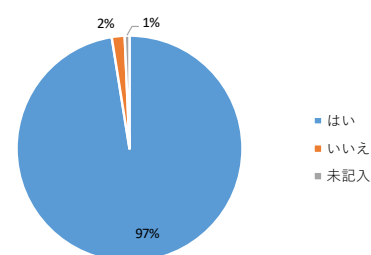
4. 半年前より固いものが食べにくい



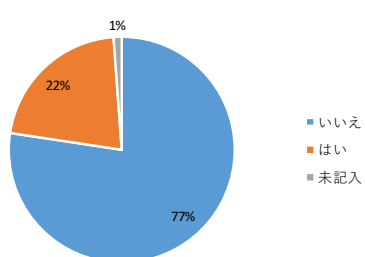
9. 運動を週に1回以上しているか



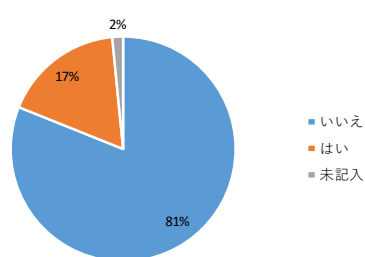
14. 家族や友人と付き合いがあるか



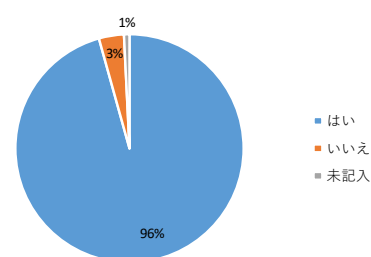
5. お茶や汁物等でむせることがある



10. 物忘れがあるとと言われるか

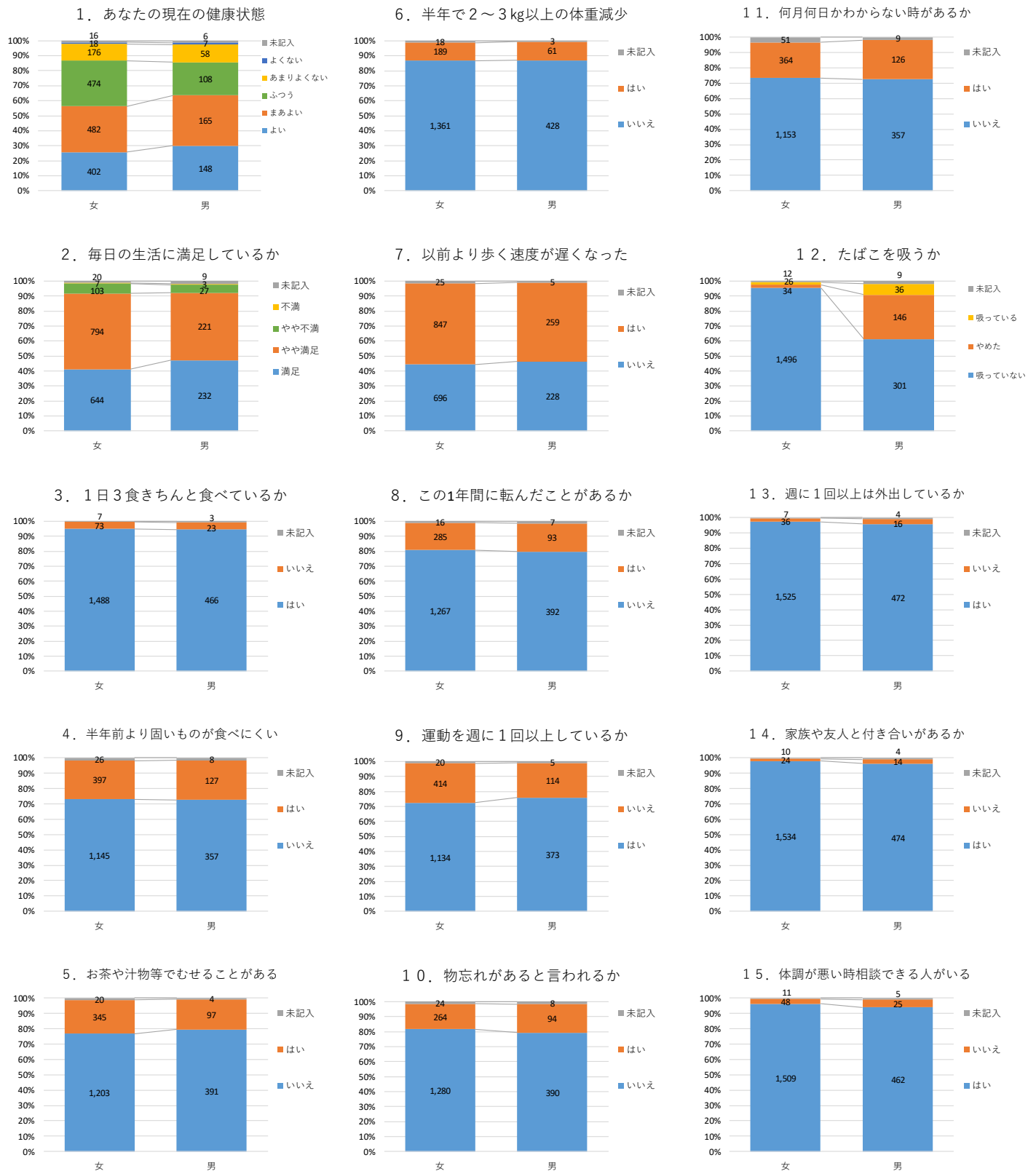


15. 体調が悪い時相談できる人がいる



○『健康状態』(1)、『食習慣』(3)及び『体重の変化』(6)のチェック項目については、フレイルの状態に該当する割合が、令和6年度よりも増加。
 ○『口腔の機能』(4)『運動・転倒』(8,9)及び『認知機能』(11)のチェック項目については、フレイルの状態に該当する割合が、令和6年度よりも減少。

【記述測定】 【性別】フレイルチェック結果 令和7年4月～令和8年3月分（n=2,060）



○『口腔の機能』(4,5)のチェック項目については、令和6年度と性差が逆転し、(4)は男性が、(5)は女性の方がフレイルの状態に該当する割合が高くなった。

○『運動・転倒』(8)及び『認知機能』(10)については、フレイルの状態に該当する割合の性差が縮小した。

【記述測定】【年齢別】フレイルチェック結果 令和7年4月～令和8年3月分（n = 2,060）

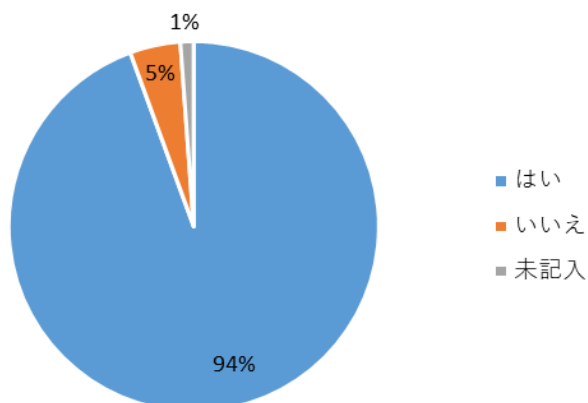


○加齢とともにフレイルに該当する回答割合が増加している項目の中で特に、『口腔の機能』(4,5)及び『運動・転倒』(7,8)のチェック項目において顕著にみられる。
 ○『運動・転倒』(9)のチェック項目では、加齢とともにフレイルの状態に該当する回答割合が増加し、75歳-84歳を境に減少に転じている。

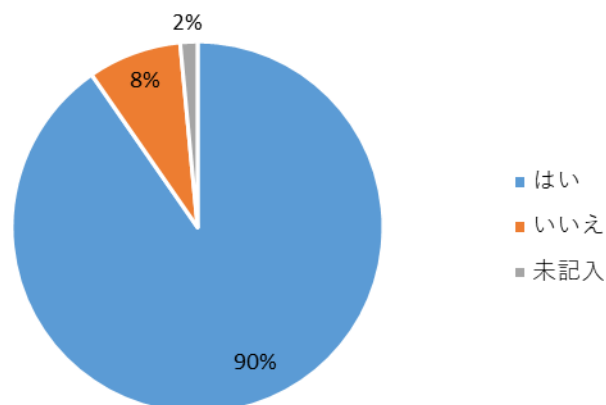
●栄養項目(令和4年より調査)

全体

3-2. 食べる楽しみを感じていますか

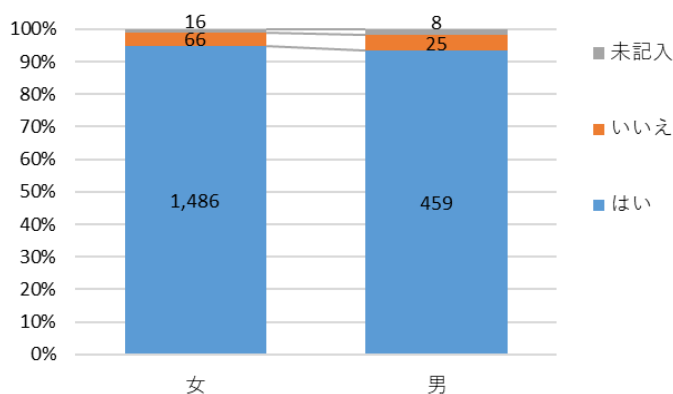


3-3. たんぱく質のある食事を1日2回以上

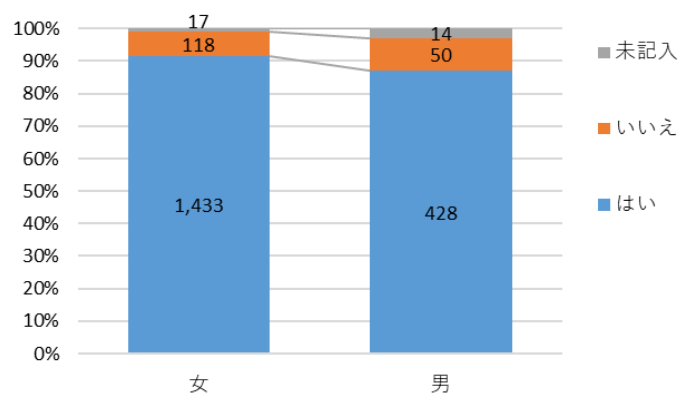


性別

3-2. 食べる楽しみを感じていますか

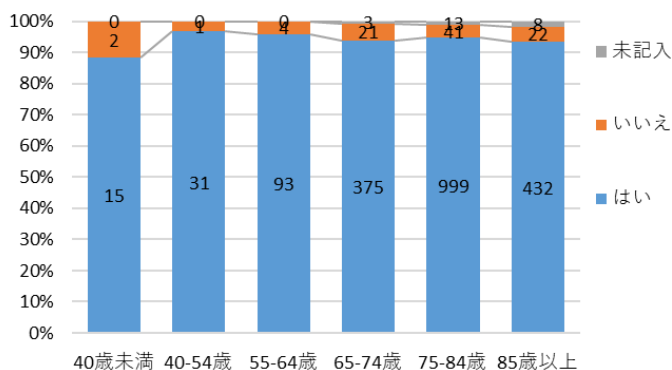


3-3. たんぱく質のある食事を1日2回以上

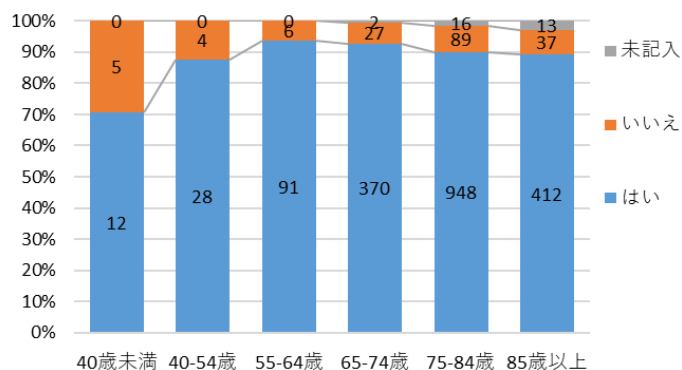


年齢別

3-2. 食べる楽しみを感じていますか



3-3. たんぱく質のある食事を1日2回以上

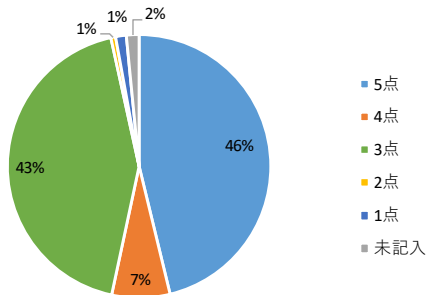


○「3-2 食べる楽しみを感じている割合」の「全体」は、令和6年度と同様の結果となった。また、「いいえ」と回答した割合は、女性よりも男性に多い。

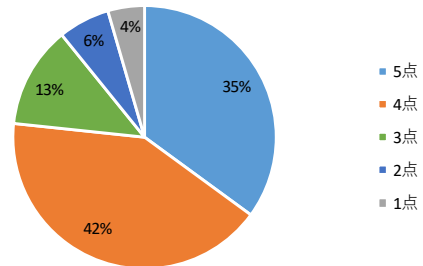
○「3-3 たんぱく質のある食事を1日2回以上」で「いいえ」と回答した割合は、令和6年度と同様に男性よりも女性において多い。また、「はい」と回答した者は55-64歳を境に減少している。

【からだ測定】フレイルチェック結果 令和7年4月～令和8年3月分（n=2,060）

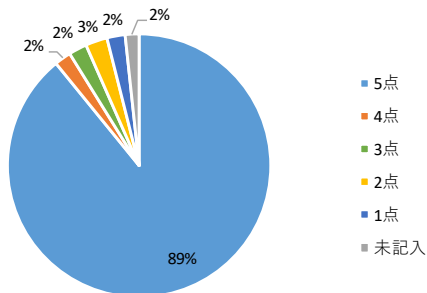
1. 座位からの片足立上がり



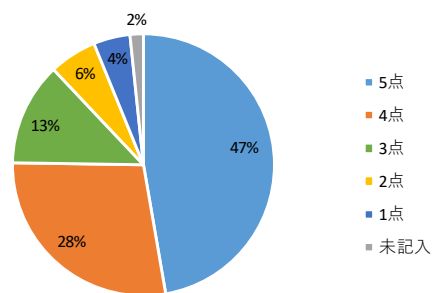
5. パ・タ・カの発声



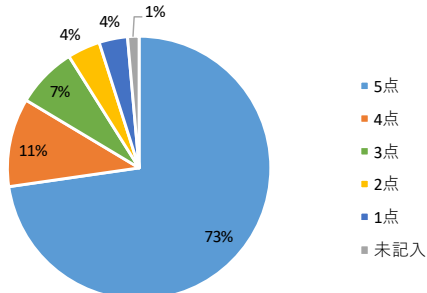
2. タンデム立位保持



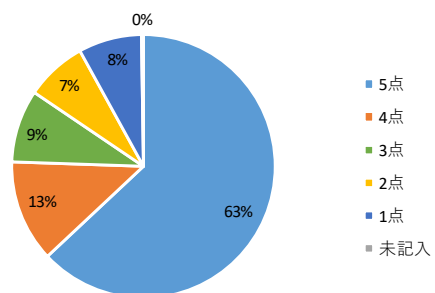
6. 聴覚チェック



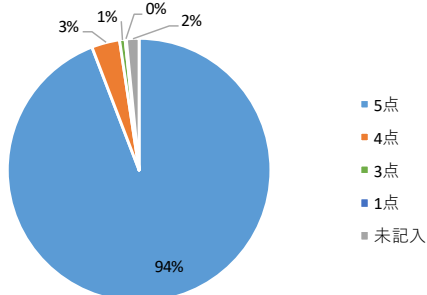
3. 握力測定



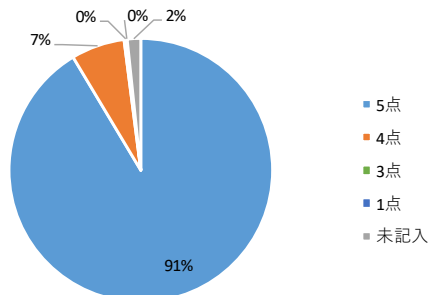
7. 栄養フレイルチェック



4. 反復唾液飲みテスト



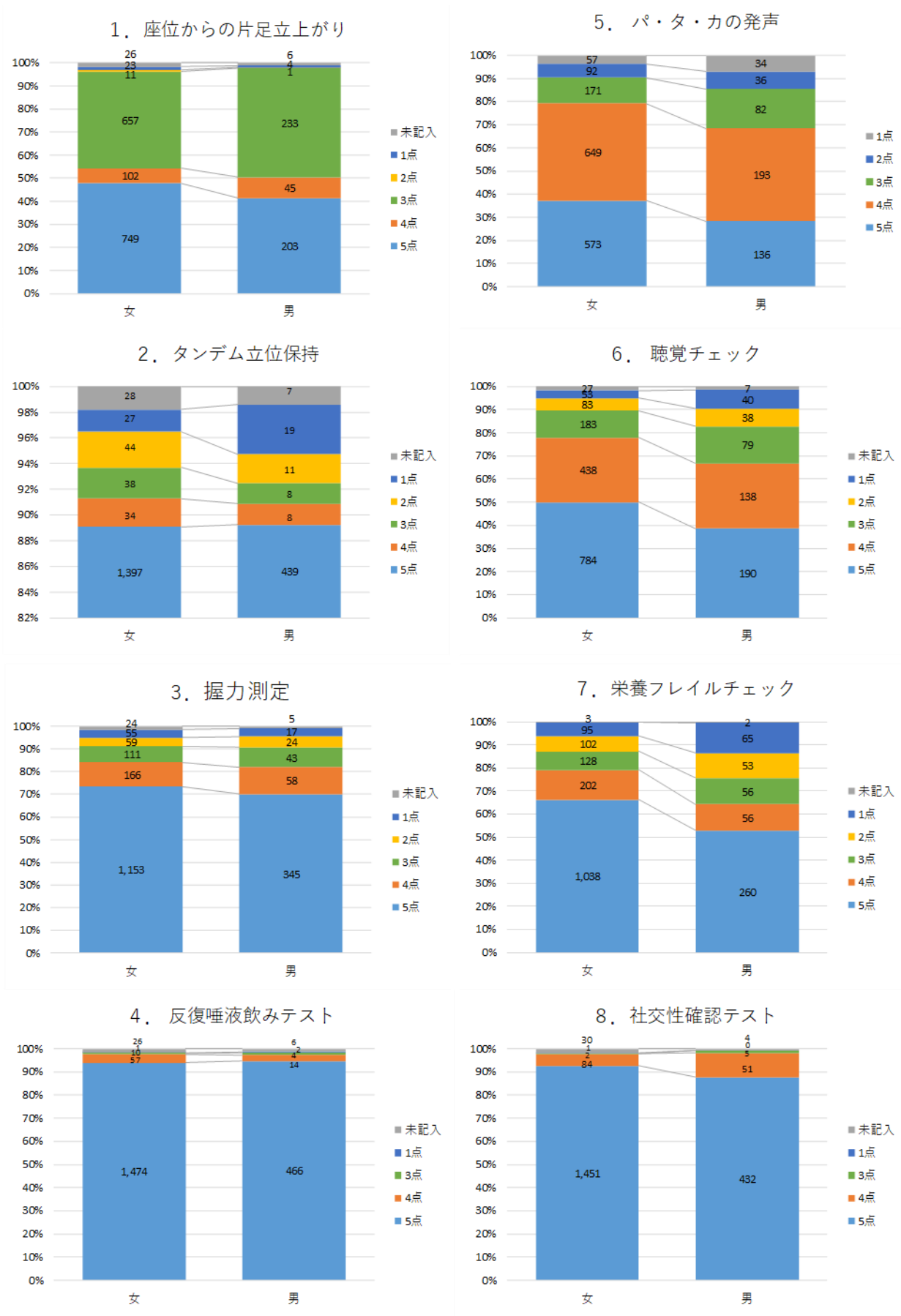
8. 社交性確認テスト



○「5. パ・タ・カの発声」を除く全ての項目において、5点の方の割合が令和6年度より増加している。

○「5.パ・タ・カの発声」における5点の方の割合が、令和6年度に比べて26ポイント減少している。

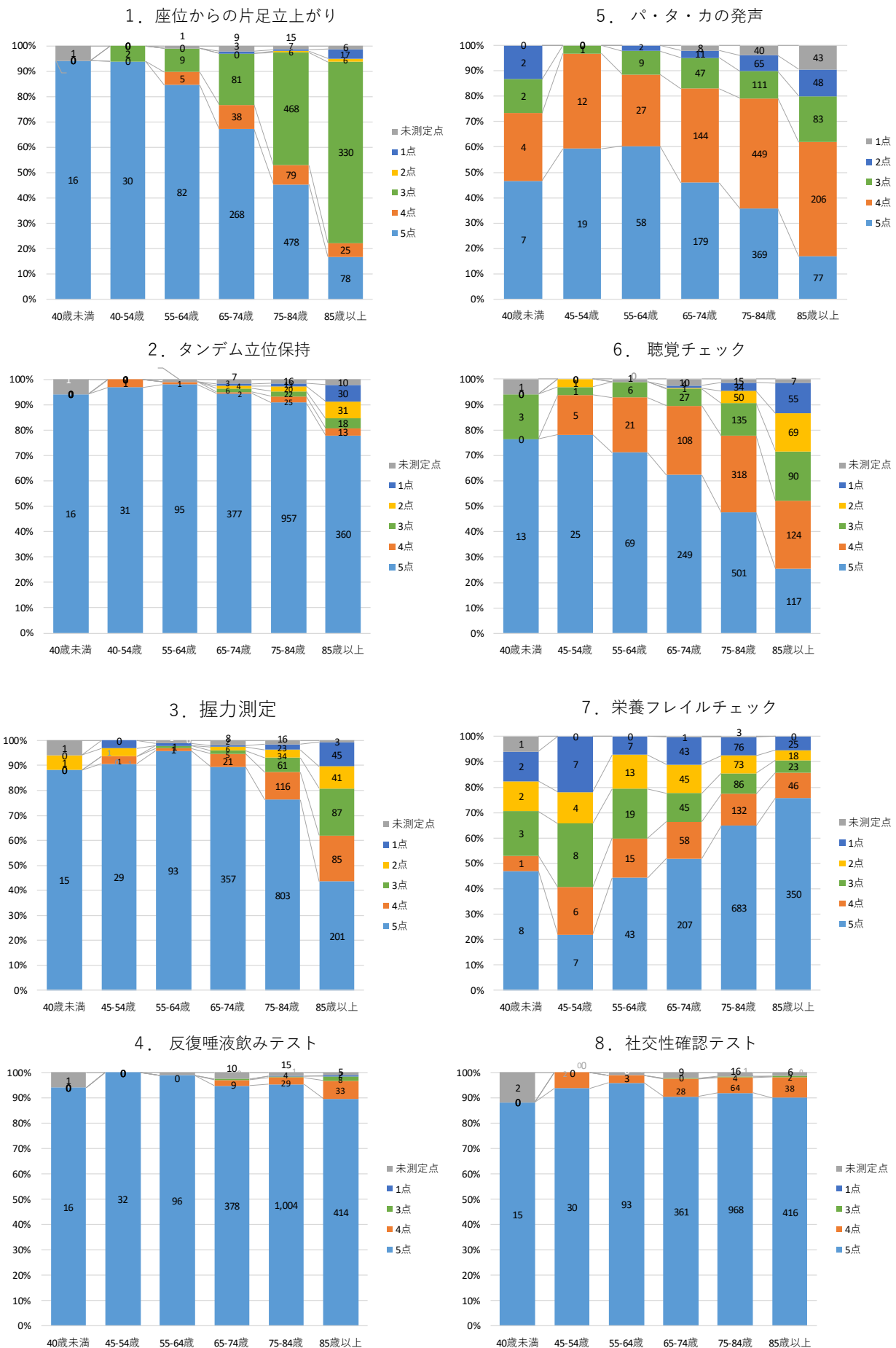
【からだ測定】【性別】フレイルチェック結果 令和7年4月～令和8年3月分（n=2,060）



○「5.パ・タ・カの発声」「6.聴覚チェック」「7. 栄養フレイルチェック」では4点以下の割合が女性より男性の方が高く、令和4年度から同様の傾向である。

○一方、「1. 座位からの片足立上がり」「8.社交性確認テスト」は令和6年度と性差が逆転し、男性の方が4点以下の割合が高い。

【からだ測定】【年齢別】フレイルチェック結果 令和7年4月～令和8年3月分（n=2,060）



○「1. 座位からの片足立ち上がり」「2. タンデム立位保持」「3. 握力測定」「5. パ・タ・カの発声」「6. 聴覚チェック」については、令和4年度から同様、加齢とともに4点以下の方の割合が多い。一方で、栄養フレイルチェックは、加齢とともに5点の割合が増加している。